

## 男女共同参画社会をつくる ～男女共同参画に関するQ&A～

Q 8 7 最近の「ジェンダー・ギャップ指数」において、我が国は156か国中120位」、先進国でも最低水準という結果は、政治分野等の取組の遅れが主な要因とされています。この指数を作成される4分野のことについて説明して下さい。

A 8 7 ジェンダー・ギャップ指数とは男女の平等度を数字で示したものです。

GGI (Gender Gap Index : ジェンダー・ギャップ指数)ランキングで

ランキング日本は 120 位 (参加国中の順位) です。  
156か国中 (内のランキング参加国数)

[ スイスに本部がある「世界経済フォーラムという団体」が ]  
公表している男女格差を表す指数

過去5年間をたどる

### ●ジェンダー/ gender とは

「社会的・文化的に形成された性別」のこと。人間には生まれつきの生物学的性別 (セックス/sex) がある。一方、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別」(ジェンダー/gender) といいます。

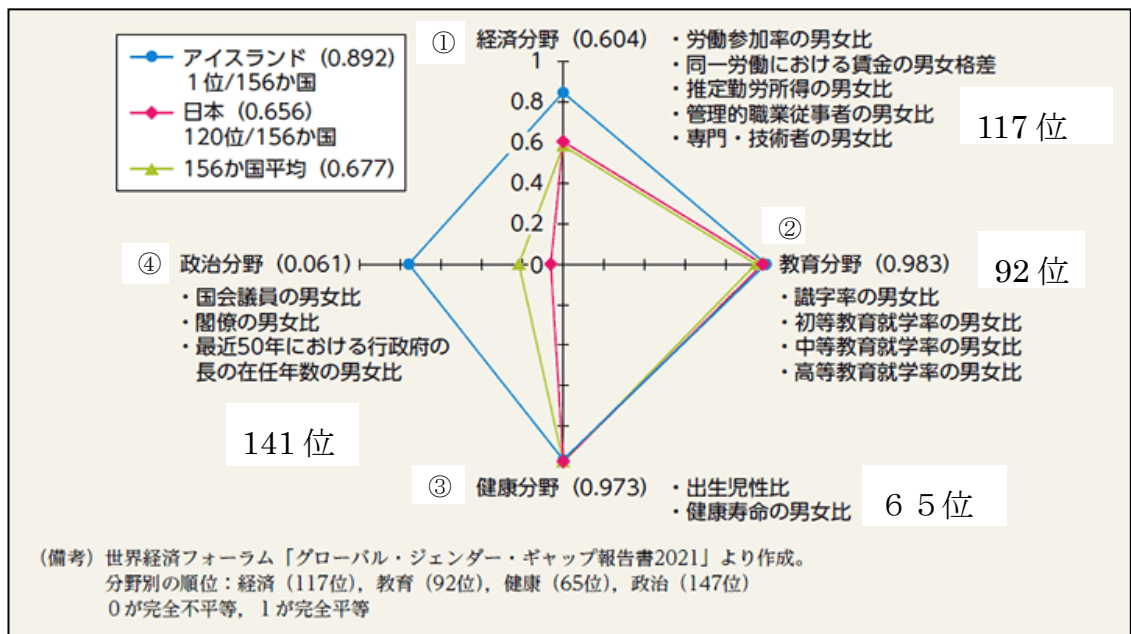
【ジェンダー・ギャップ指数】		
西暦 和暦	日本の順位	参加国
2016 (平成28)	111	144
2017 (平成29)	114	144
2018 (平成30)	110	149
2019 (平成31) (令和元)	121	153
2020 (令和2)	120	156

### GGI ジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index)

スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が作成。次の4分野のデータからなり、0が完全不平等、1が完全平等を示します。

- ① 【経済分野】・労働参加の男女比 ・同一労働における賃金の男女格差
  - ・推定勤労所得の男女比 ・管理的職業従事者の男女比
  - ・専門・技術者の男女比
- ② 【教育分野】・識字率の男女比 ・初等，中等，高等教育の就学率の男女比
- ③ 【健康分野】・出生児性比 ・健康寿命の男女比
- ④ 【政治分野】・国会議員（下院）の男女比 ・閣僚の男女比
  - ・最近50年における行政府の長の在任年数の男女比

### ジェンダー・ギャップ指数の分野別順位



100満点で示す

世界各国のジェンダー平等の程度を指数にしたもの。1が完全平等。

100点満点とした時、日本は66点。世界156か国中120位（2021年）教育分野98点、健康分野97点、経済分野60点、政治分野6点

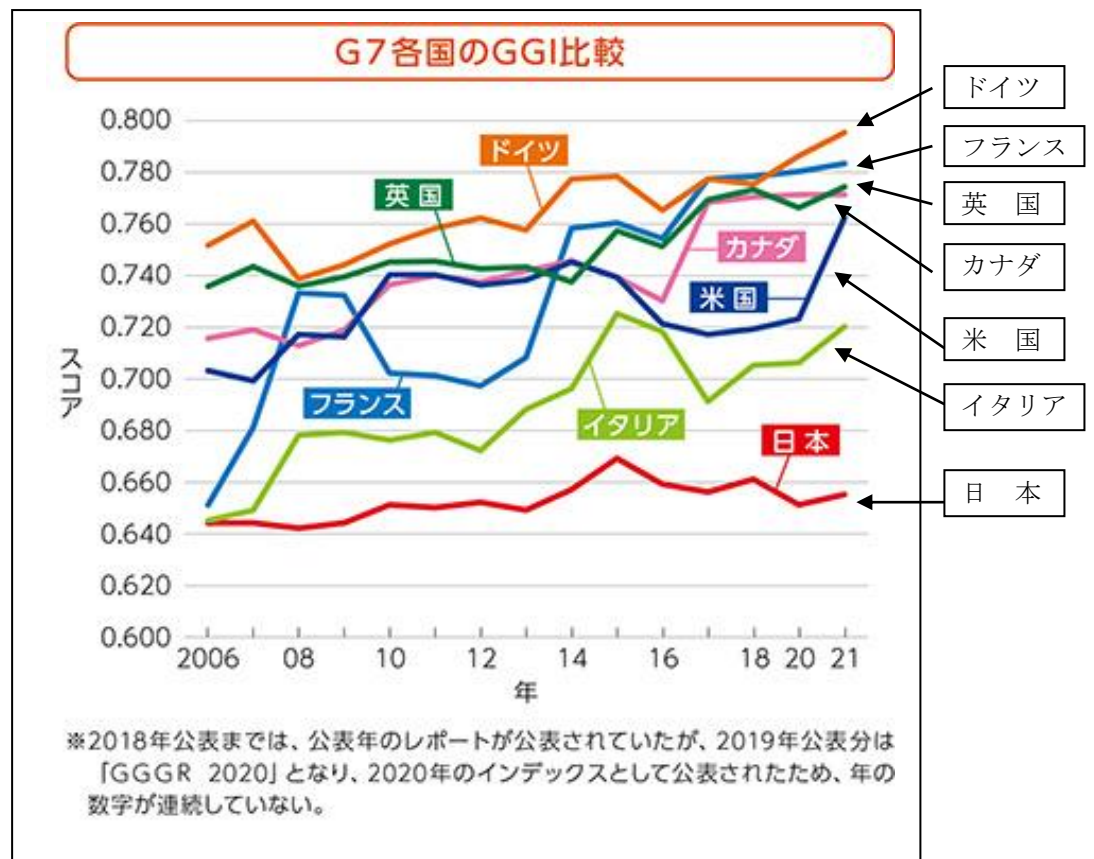
ジェンダーギャップ指数 (2021)  
上位国及び主な国の順位 をスコアで示す

順位	国名	値	前年値	前年からの 順位変動
1	アイスランド	0.892	0.877	－
2	フィンランド	0.861	0.832	1
3	ノルウェー	0.849	0.842	-1
4	ニュージーランド	0.840	0.799	2
5	スウェーデン	0.823	0.820	-1
11	ドイツ	0.796	0.787	-1
16	フランス	0.784	0.781	-1
23	英国	0.775	0.767	-2
24	カナダ	0.772	0.772	-5
30	米国	0.763	0.724	23
63	イタリア	0.721	0.707	13
79	タイ	0.710	0.708	-4
81	ロシア	0.708	0.706	－
87	ベトナム	0.701	0.700	－
101	インドネシア	0.688	0.700	-16
102	韓国	0.687	0.672	6
107	中国	0.682	0.676	-1
119	アンゴラ	0.657	0.660	-1
120	日本	0.656	0.652	1
121	シエラレオネ	0.655	0.668	-10

各分野における日本のスコアは、次のとおりです。

分野	スコア
経済	0.604
政治	0.061
教育	0.983
健康	0.973

各国がジェンダー平等に向けた努力を加速している中で、日本は遅れている。



政治分野への進捗が遅れている要因として

- ①立候補や議会活動と家庭生活の両立が困難なこと。
- ②人材育成の機会が不足。
- ③候補者や政治家へのハラスメントなどがあるなど。
- ④「女性はリーダーとしての能力や資質を備えていない」などのアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を解消することも必要です。

資料出所 令和3年版 男女共同参画白書

内閣府男女共同参画12月号